



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和2年3月号 (第286号)



**中止**

「もりの学舎まつり」を開催します (P3)



オオキンケイギクの駆除にご協力をお願いします (P4)



「2020 愛知環境賞」表彰式を開催しました (P6)



海ごみ減らそうプロジェクト・ごみゼロ社会推進あいち県民大会を開催しました (P8)



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



## 「あいち環境学習プラザ」が生まれ変わります



愛知県の環境学習の拠点である「あいち環境学習プラザ」(東大手庁舎1階・名古屋市中区)は、PFI事業による建て替えを終え全面供用開始する、県環境調査センター(名古屋市中区)1階に移転し、2020年4月から新たな環境学習施設として生まれ変わります。

新しいプラザでは、ハンズオン展示を新たに整備したり、自ら学べるタブレット学習を取り入れたり、遊びながら楽しく環境について学べる工夫が凝らされています。また、公共施設で全国トップクラスのZEB(ゼロ・エネルギー・ビルディング)を支える新エネ・省エネ設備や、本物の環境分析現場の見学等、施設の特徴を生かした環境学習ができます。

さらに、学習指導要領に沿った環境学習講座も用意し、小中学校の社会見学や子ども会の遠足などにも利用できます。

その他、夏・冬休みの親子向け環境学習講座の開催や、環境学習講師の紹介、講座のコーディネートなど、皆さんの環境学習をサポートしていきます。

生まれ変わった「あいち環境学習プラザ」を、是非ご利用ください。

### あいち環境学習プラザ 概要

開設日: 2020年4月1日  
 場所: 愛知県環境調査センター1階  
 (名古屋市中区辻町字流7-6)  
 開館日時: 月曜日～金曜日 9時～17時  
 (土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休館)  
 その他: 入館料無料、バス駐車場あり



環境政策課 企画・広報グループ  
 電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)



## あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の実施団体を募集します



愛知県では、「あいち森と緑づくり税」を活用して、NPO やボランティア団体など多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習の取組を促進するため、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を2009年度から行っています。

現在、2020年度に実施する企画提案事業を募集していますので、是非ご応募ください。

### 1 対象とする団体

NPO 法人、ボランティア団体、農協、漁協、森林組合、自治会、私立学校、市町村等(愛知県内に活動の拠点を置く、5人以上の団体)

### 2 募集期限

3月16日(月)(必着)

### 3 提出書類及び部数

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業実施計画書」3部。様式は、Web ページからダウンロード

できます。

### 4 提出先

主な事業実施場所を所管する東三河総局又は県民事務所等(名古屋市内の取組は環境活動推進課)



活動の様子(自然観察会)

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000023749.html>)



環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ  
 電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

もりの学舎まつりは、新型コロナウイルス感染防止のため中止いたします。



## まなびや 「もりの学舎まつり」を開催します！



愛・地球博記念公園内の環境学習施設「もりの学舎」では、「もりの学舎まつり」を名古屋キワニスクラブの協賛を得て開催します。

当日デビューを飾るキッズインタープリター（小学4年生～6年生）による「自然体感プログラム」や、地図を片手にクイズや遊びに挑戦する「森のたんけんゲーム」、様々な自然遊びをする「森のあそびバ！」など、多くのプログラムを実施します。

また、「キッズインタープリターの自然体感プログラム」と「森のたんけんゲーム」に参加した先着各200名の方には、記念品をプレゼントします。



キッズインタープリター達が頑張ります

参加費は無料で、事前申込不要です。是非遊びに来てください。

1 日時 3月15日（日） 11:00～15:00

2 キッズインタープリターの自然体感プログラム

(1) 時間 11:20～15:00の中で複数回実施

(2) 内容

めざせ！植物マスター…森の植物のクイズツアー

自然でアート…木の枝や葉っぱを使った森の工作

ネイチャーワールド…木の実を使った遊び体験

※1回20分程度

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/r2fes.html>)



雨天の場合、プログラムの変更があります。

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）



## もりの学舎春休み特別企画を実施します！



「もりの学舎」では、3月20日（金・祝）から4月5日（日）まで、（一社）愛知県産業廃棄物協会の協賛を得て、春休み特別企画を実施します。

期間中の土日は特別プログラムとして、リサイクル素材や木の実を使った工作教室「あそび工房」、自然の色や形を楽しむプログラム「ふしぎ万華鏡」、「紙芝居、読み聞かせ」などを実施します。また、インタープリターと歩くもりのツアーなど、通常のプログラムも実施しています。

参加費は無料で、事前申込不要です。是非春を感じに、もりの学舎へ遊びに来てください。

### <主な特別プログラム>

1 あそび工房（所要時間：各30分）

土日 11:30、13:30、14:30から

2 ふしぎ万華鏡

土日 10:15から15:15の間で随時



「あそび工房」の作品例



「ふしぎ万華鏡」の様子

3 紙芝居、読み聞かせ

土日 10:15から15:15の間で随時

平日にも様々な楽しいプログラムを実施しています。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/r2spr.html>)



※3月23日（月）は休館

環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

## オオキンケイギクの駆除にご協力をお願いします



人間活動によって他の地域から持ち込まれた外来種の中でも、地域の生態系や皆さんの健康、農作物に悪影響を及ぼす「侵略的外来種」は、地域において適切な防除活動を行うことが極めて重要です。

侵略的外来種であるオオキンケイギクは、1880年代に観賞用や緑化用として日本に導入され、現在では愛知県内の河川敷や道路端などの草地に広く分布しています。繁殖力が旺盛で、絶滅危惧種を含む在来種を駆逐するため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」に基づく特定外来生物に指定され、栽培や生きたままの運搬等が禁止されています。

オオキンケイギクは、これからの季節である5～8月に黄橙色の目立つ花を咲かせます。地域の生態系を守るため、地域における駆除活動への参加や、自己所有地における抜き取りなど、オオキンケイギクの駆除にご協力をお願いします。

愛知県では、オオキンケイギクの駆除をきっかけとして、皆さんに侵略的外来種について知っていただき、地域における様々な侵略的外来種の駆除の取組を促進していきます。



オオキンケイギクの群落と花

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/shizen/gairai/index.html>)



自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン)

## 産業廃棄物排出事業者セミナーを開催しました



愛知県では、産業廃棄物を排出する事業者の方々を対象に、排出事業者が果たすべき役割を解説、周知する「産業廃棄物排出事業者セミナー」を1月21日にローズコートホテル（名古屋市中区）で開催しました。

当日は約200名の参加があり、県から、「廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」の改正を始めとした排出事業者責任の強化に関する最近の動向について説明しました。その後、花王(株) ESG活動推進部長の金子洋平かねこ しょうへいさんに「私たちのプラスチック包装容器宣言」をテーマに、また、亜星商事(株)代表取締役の山下強やましたつよしさんに「循環型プラスチック社会を目指す《国内リサイクルへの挑戦》」をテーマにご講演いただきました。

参加者からは、「排出事業者責任について改めて認識できる良い機会となった」、「廃プラスチックの現

状についてとても参考になった」、「リサイクルの重要性を再確認した」、「社内の環境教育に活用したい」といった感想をいただきました。



セミナーの様子

資源循環推進課 産業廃棄物グループ  
電話 052-954-6235 (ダイヤルイン)

## 水質事故未然防止対策説明会を開催しました

6 水質汚濁防止法  
を促進中

11 水質汚濁防止法  
を促進中

14 水質汚濁防止法  
を促進中

油や有害な物質が河川などの公共用水域へ流出すると、魚が死んだり、水道水が取水できなくなったりするなど、大きな被害をもたらすことがあります。このような水質事故は、愛知県内だけでも、毎年100件ほど発生しています。

こうした水質事故の未然防止を図るため、愛知県では県内の事業者を対象に「水質事故未然防止対策説明会」を開催しています。

今年度は1月27日に開催し、95名の方にご参加いただきました。

説明会では、県内での水質事故の発生状況や、事故の主な発生要因、未然防止のために必要な対策等を説明しました。

また、「トヨタ自動車(株)における環境異常苦情ゼロ活動 ～町一番の工場を目指して～」と題し、トヨタ自動車(株)プラント・環境生技部 生産環境室 企

画2グループ長の<sup>ひらつかまさし</sup>平塚雅嗣さんから、水質事故等の環境異常の発生を防ぐために、関連会社も含めて取り組んでいる未然防止対策等をご紹介いただきました。

県では、今後も説明会等を通して啓発を行うとともに、Web ページでも随時、日常点検チェックリストやリーフレット等を掲載し、水質事故の未然防止に必要な情報を提供していきます。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0005.html>)



説明会の様子

水大気環境課 水・土壌規制グループ  
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)

あえる

## 「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催しました

4 環境学習推進  
を促進中

17 環境学習推進  
を促進中

県民の皆さんに楽しく環境について学んでいただくため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(略称:AEL ネット)に加盟する民間や市町村等178の環境学習施設等が連携して、2019年6月21日から2020年2月13日まで「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催しました。このスタンプラリーは、環境学習施設等への来館、環境をテーマとした講座・イベントへの参加により、スタンプを3個以上集めてご応募いただくと、スタンプの数に応じて、抽選で最大5,000円分の図書カード等の記念品をプレゼントするものです。

約8か月の開催期間中、多くの方にご参加いただき、記念品の抽選には5,000通を超える応募がありました。参加者からは、「スタンプラリーをきっかけに様々な施設に行けた」、「家族で出かけるきっかけになった」、「スタンプ帳を見ているだけで色々な情

報がもらえる」、「家族で楽しめた」などの感想が寄せられています。

来年度もスタンプラリーを開催する予定ですので、皆さん是非ご参加ください。

### AEL ネット環境学習スタンプラリー対象講座の様子



西尾いきものふれあいの里  
「ジメジメきのこは大にぎわい」



高浜市立図書館  
「葉っぱの見わけかたを学ぼう」

環境活動推進課 環境学習グループ  
あいち環境学習プラザ  
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

## 「2020 愛知環境賞」表彰式を開催しました



愛知県では、企業、団体などが行う資源循環や環境負荷の低減に関する先駆的で効果的なく技術・事業 < 活動・教育 > の事例を表彰する「愛知環境賞」を2005年3月に創設し、昨年までに195件を表彰してきました。

16回目となる今回は、43件の応募があり、選考委員会で先駆性・独創性、環境負荷低減効果、社会全体に対する波及・啓発効果などを総合的に審査し、金賞の東邦ガス(株)を始め16企業・団体の受賞者を決定しました。

2月12日にローズコートホテル(名古屋市中区)

で開催した表彰式では、愛知県の<sup>つば</sup>大村知事、環境パートナーシップ・CLUBの<sup>つば</sup>柘植会長(東海旅客鉄道(株)会長)、中日新聞(株)の澤田事務局長、名古屋市の秋田市民経済局参事から、各受賞者に対して表彰状とトロフィーが授与されました。



「金賞」の東邦ガス(株)

### 2020 愛知環境賞 受賞者一覧

賞の種類	受賞者	受賞事例
金賞	東邦ガス(株)	スマートタウン「みなとアクルス」の開発
銀賞	愛知製鋼(株)	製鋼スラグを独自技術で改質した 低粉じん・繰り返し使用可能なショットプラスト材(研削材)
	日本モールド工業(株)	パルプモールドのパイオニアとしての脱プラスチックへの貢献～紙製緩衝材、超軽量パレット「ロジパレ」の製造～
銅賞	名古屋大学 都市の木質化プロジェクト、 錦二丁目まちづくり協議会・都市の木質化プロジェクト、MOKKO 木材・木造建築物学生会	森—街連携による都市の木質化プロジェクトとその成果を活用したESD活動
中日新聞社賞	(株)渥美フーズ	ごみを出さずに買い物ができるゼロ・ウェイスト・スーパー～21世紀に必要とされるモデル店舗を目指して～
名古屋市長賞	(株)小樹屋	独自技術による廃棄物の高付加価値化事業システム
優秀賞	太平産業(株)	IoT技術を活用した効率的な工程振分け及び適正評価による安全・確実な建設汚泥の中間処理の実現
	タイム技研(株)、大口町	「21世紀創造の森」の活動から生まれた住民・企業・行政の連携による保育園づくりと木育の推進
	豊田鉄工(株)	超高張力鋼板成形技術向上による自動車部品軽量化のグローバル展開
	日東工業(株)	工場内の冷却水を有効利用した省エネルギーで省メンテナンスの制御盤冷却装置「Eクール」
	(一社)NIPPON紙おむつリサイクル推進協会	使用済み紙おむつリサイクルにおける粉碎摩擦乾燥装置の開発協力と普及事業
	日本エンジン(株)	自動車、空調機等のエンジンのリビルト(再生)事業
	半田子どもエコクラブ	自然環境を見つめ、生き物から学ぶことのできる感性を育て、子どもたちの心を「やさしく」「豊か」にする活動
	フタバ産業(株)	暖房用排気ガスを再利用するエコでクリーンなハウス栽培用CO <sub>2</sub> 貯留・供給装置「agleaf(アグリーフ)」
	松山毛織(株)	農業分野での脱樹脂化の一助となる天然繊維製資材(コットンネット)の実用化
(株)丸繁製菓	「食器もパクパク！」美味しい脱プラの事業化	

※詳細は愛知環境賞のWeb ページをご覧ください。

(<http://aichikankyoushou.jp/>)



資源循環推進課 循環グループ

電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)

## 1 今後の天候の見通し

名古屋でも2月10日にようやく今年度の初雪を観測し、統計開始以来、最も遅い観測となりました。初雪は観測したものの、2月の気温(24日現在)は平年より暖かくなっています。

名古屋地方気象台は「寒気の影響が弱く、冬型の気圧配置が続かない」としており、3月の気温は平年並か高めで、晴れの日が多くなると予測しています。

## 2 愛知県における3月の気象の特徴

1日の最低気温が0℃未満の日を「冬日」と呼び、名古屋における3月の冬日日数の推移を図1に示します。統計を開始した1891年頃は、月の半分程度が冬日となる年もありましたが、近年は冬日が5日未満となり、2017年以降では観測できず顕著に減少していることが分かります。

また、名古屋における3月の平均気温は、観測開始から約130年間で3℃近くも上昇したこととなります(図2)。

## 3 花粉飛散の仕組みと地球温暖化

3月から4月はスギやヒノキの花粉の飛散がピークを迎え、花粉症に悩まされる方もいると思います。

「花粉症環境保健マニュアル」(環境省)によれば、スギやヒノキは6月から11月頃までに成長し、この時期の日照時間が長く、気温が高いほど雄花の量が多くなり花粉も増えます。さらに、気温が高い暖冬の場合、花粉飛散時期が早まります。

花粉の飛散にはこうした仕組みがあり、厚生労働省は「温暖化の影響で花粉は多く作り出されるようになっているとも言われています」としています(花粉症Q&A集)。

また、アメリカの農務省農業研究局を中心とする国際研究チームは、「気候変動に伴う二酸化炭素の増加や気温上昇は、花粉症を重症化させ、長引かせる要因となりうる」(2019年医学雑誌発表)と警告するなど、温暖化との関わりが研究されています。

## 4 花粉対策への取組

環境省は、全国のスギ・ヒノキの花粉の飛散状況を花粉観測システム(愛称:はなこさん)によりリアルタイムで提供しており、愛知県には、環境調査センター(名古屋市北区)と東三河総合庁舎(豊橋市)に測定局があります。

また、農林水産省等では無花粉スギの開発を進めるとともに、少花粉スギ等の苗木の供給量を増大させるための生産体制の整備を進めています。

## 5 新年度に向けた準備で省エネを!(緩和策)

3月は転勤や入学等に向けて引っ越しが増え、家電の買換えを検討する方もいると思います。

例えば10年前の冷蔵庫を買い換えると、年間5,700円を節約でき、107kgのCO<sub>2</sub>削減に繋がります。

県では、家電製品の省エネ情報などを分かりやすく説明してもらえる925店の家電小売店を「あいち省エネ家電サポーター店」として登録しています。店頭などにステッカーが表示されていますので、省エネ家電への買換えを検討する際にご活用ください。

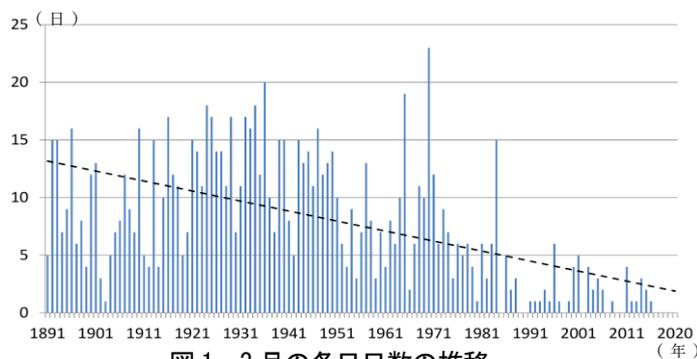


図1 3月の冬日日数の推移

(名古屋地方気象台の観測データを基に作成)

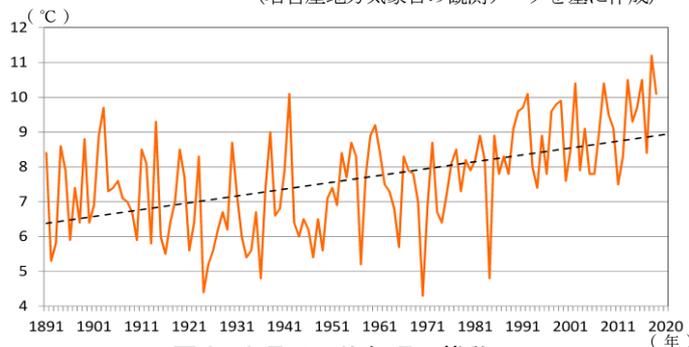


図2 3月の平均気温の推移

(名古屋地方気象台の観測データを基に作成)

環境調査センター 企画情報部

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

# 海ごみ減らそうプロジェクト・ ごみゼロ社会推進あいち県民大会を開催しました



海ごみの問題を広く県民の皆さんに知っていただき、海ごみ削減の取組が広がるように「海ごみ減らそうプロジェクト」を1月25日(土)に一宮市のイオンモール木曾川で開催しました。また、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の普及を進めるため、ごみゼロ社会推進あいち県民会議主催の「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催し、延べ約3,900名の方にご参加いただきました。

## 【海ごみ減らそうプロジェクト】

一宮市の協力の下、俳優の鈴木福<sup>すずきふく</sup>さんと一緒に木曾川河川敷の清掃活動を行いました。当日は晴天に恵まれたこともあり、178名の多くの方にご参加をいただき、139kgのごみを回収することができました。中でも、プラスチックごみは59kgと最も多い結果となりました。



清掃活動集合写真

イオンモール木曾川では、トークショーやステージショーなど様々なイベントを行いました。

「ごみから守れ！僕らの海・川・こころ」と題した鈴木福さんのトークショーでは、「清掃活動でのプラスチックの多さに驚いた」、「川から海に流れ出るごみを減らすことが大切だと思う」など、木曾川河川敷の清掃活動に参加した感想とともに海ごみ問題についてお話いただきました。

また、地元アイドルの名古屋 CLEAR'S や Re☆Sta のミニライブでは、プラスチックごみ削減に向けた啓発イメージソング「プラごみ！ Good bye old days！～プラスチックごみをなくそう～」が披露されました。なお、この啓発イメージソングはWebページで聴くことができます。

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyosigen-ka/ippai/gomizero/gakkyoku.html>)



鈴木福さんのトークショーの様子

その他、クイズ大会や海ごみを使ったフォトフレーム作り、万華鏡作りができるワークショップも好評で、多くの方に楽しみながら海ごみ問題を学んでいただくことができました。



ワークショップの様子

また、清掃活動団体の日頃の活動成果の発表や、ワンウェイプラスチックの代替製品の普及、プラスチックごみ削減に取り組む企業・団体のブースでは、紙製ストロー、食べられる食品容器、生分解性プラスチックを使った食器、マイクロプラスチックを使用したアクセサリ等が紹介され、多くの方に興味をもっていただくことができました。

## 【ごみゼロ社会推進あいち県民大会】

第1部では、県民会議会長の大村知事から「プラスチックごみの削減について考え、行動につなげていく機会としたい」と挨拶がありました。また、開催にご協力いただいた中野一宮市長もご挨拶くださいました。

続いて「レジ袋削減取組店」に登録いただいている県内の251店舗の中で、顕著な実績を収められた優良店(19店舗)の代表者に対し、大村知事から表彰状が授与されました。



表彰式の様子

その後、大村知事、中野市長、女優のいとうまい子さんたちが、「あいちプラスチックごみゼロ宣言」を発表し、「捨てない・減らそう・変(替)えよう! アクション プラごみゼロ!」と来場者と声を合わせ、コールしました。

第2部では、名古屋 CLEAR'S・Re☆Sta によるス

テージショーや、いとうまい子さんによる「身近なところですぐできる! プラごみ減量のススメ」と題したトークショーが行われ、「宣言をしてプラスチックごみへの問題意識が高まった」、「プラスチックごみを減らせるような製品を選択したい」などのお話がありました。



いとうまい子さんのトークショーの様子

プラスチックごみゼロに向け、消費者、事業者、行政が一体となった取組を進め、日常生活での3Rプラス1(リデュース、リユース、リサイクル+リフューズ)の定着を目指していきます。

**あいちプラスチックごみゼロ宣言**  
～捨てない・減らそう・変(替)えよう! アクション プラごみゼロ!～

愛知県は、大都市圏でありながら、伊勢湾、三河湾、遠州灘に囲まれ、スナメリが回遊し、ウミガメが産卵するなど、自然豊かな海に恵まれています。

その一方で、世界的なモノづくりの拠点でもあり、プラスチック製品の出荷額が全国1位であるなど、プラスチックの製造や利用に深くかかわりを持っています。

プラスチック製品は、非常に便利で、わたしたちの生活を様々な面で支えています。しかし、ひとたび、ポイ捨てなどによりごみとなり、川を通じて海に流れ出ると、海岸の景観を悪化させるだけでなく、海洋生物に悪影響を与え、漁業の妨げになるなど、様々な問題を引き起こすおそれがあります。

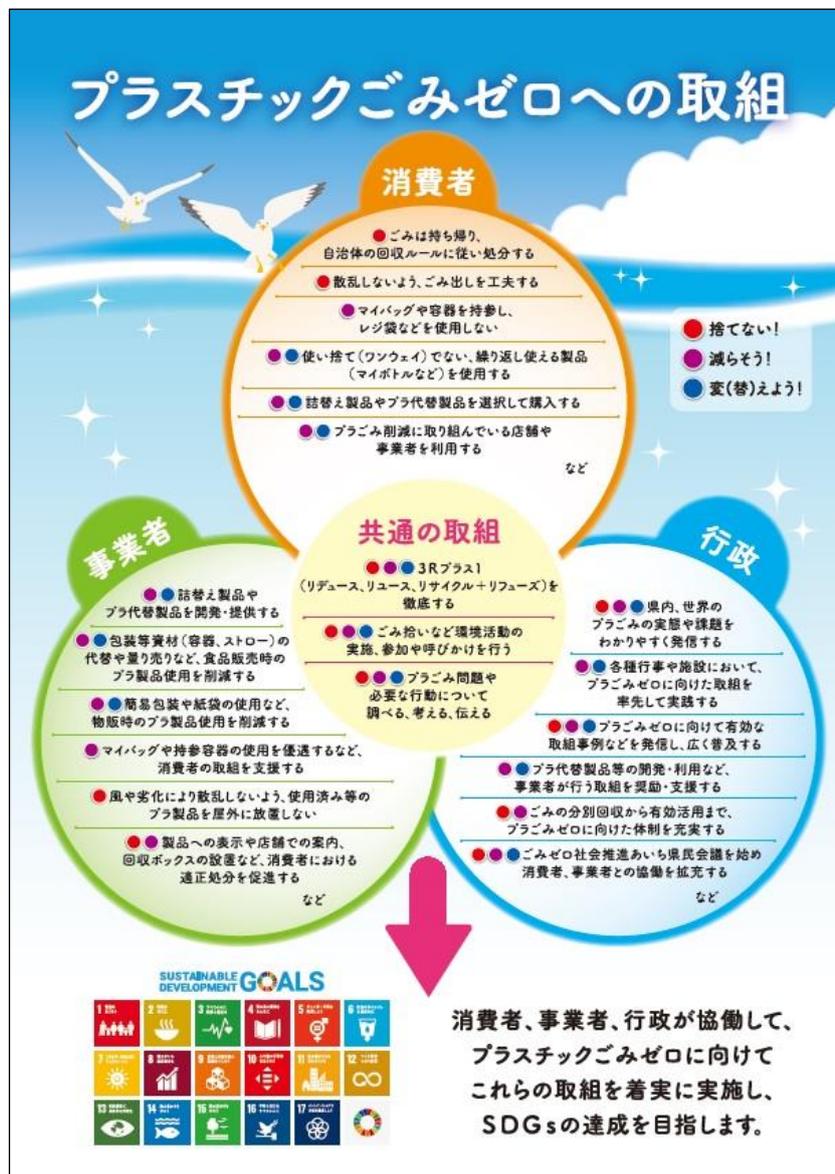
また、紫外線や波などによって細かく砕けた、いわゆるマイクロプラスチックには、海の中で有害物質が付着すると言われており、それを誤って食べた魚を人が食べることによる健康への影響が心配されています。

閉鎖性水域である伊勢湾や三河湾では、川などから流れ込んだプラスチックごみが滞留しやすく、ごみの回収とあわせて、「ポイ捨ての防止」(捨てない!)、「3Rプラス1(リデュース、リユース、リサイクル+リフューズ)の徹底」(減らそう!)、「プラスチック代替製品の提供や利用」(変(替)えよう!)など、地域をあげた取組が重要です。

わたしたちは、愛知の環境を守り、豊かな海を未来の子どもたちに引き継ぐため、プラスチックごみゼロに向けて、消費者、事業者、行政が一体となって行動していくことをここに宣言します。

2020年1月25日  
ごみゼロ社会推進あいち県民会議  
会長 愛知県知事 大村 秀章

あいちプラスチックごみゼロ宣言



## プラスチックごみゼロへの取組

県民大会の様子や宣言文等については、ごみゼロ社会推進あいち県民会議のWeb ページでご覧いただけます。

(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/sigen-ka/ippai/gomizero/>)



本宣言で示す取組を始め、プラスチックごみゼロに向けた積極的な取組をお願いいたします。

資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
令和2年3月2日発行(第286号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

### 編集後記

3月はひな祭りやお花見など、華やかな行事がありますが、卒業式や引っ越しなど、生活に変化が訪れる季節でもあります。心騒ぐ変化の春、時には日常の生活から離れ、自然に出向いて五感を刺激する体験もよいかもしれません。桃や桜の花ほど華やかではないけれど、里山に咲く春の雑草のような植物のモニタリングもおすすめてです。新しい息吹や植物の移り変わりから、生命の力強さという贈り物をいただきましょう。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。